

三次駅伝の思い出

〇〇 〇〇

中学校に入学すると、仲良しグループで入部したのが陸上部。秋までは、短距離種目に出場していましたが、「駅伝あるある」ではありませんが、秋からは全員、駅伝メンバーに大変身。当時は部員も多く、長距離が苦手だった私は、レギュラーと補欠を行ったり来たり。ところが、3年生になると流石に小さなプライドと欲が出てきます。当時は、ロードコース。4人の勝負で最後の区間を決めることに。ここで大ハプニング。2km足らずのコースで、残り600mでラストスパート。当然誰もついてきません。ゴール地点だと思ったところでスピードを落とすと「ラスト300mがんばれ」と先生の声。地獄の残り300mを必死に駆け抜け、見事メンバーに。先生からは、「今日は、積極的なレースだった」と全員の前で褒めてもらいました。その時は、「勘違いです」とも言えず。照れくさい思い出でした。今は、郷里を離れ、関東で教職についています。秋になるとあの「勘違いレース」を思い出し、未だに掌に汗を握ります。たくさんの思い出をくれた三次駅伝に感謝です。70回を迎えられた三次駅伝大会、益々ご発展をお祈りします。